

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2020年1月〔往航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

* 文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 往航（アジア 18 ヶ国・地域→米国）の荷動き

- (1) 2020年1月のアジア（18 ヶ国・地域）から米国へのコンテナ荷動き量は、前年比4ヶ月連続の減少となる2.0%減の155.8万TEU。
- (2) 国別では、台湾（5.2%増）、ベトナム（33.9%増）、インド（3.7%増）などが増加となったものの、日本（10.0%減）、中国（9.7%減）、韓国（3.1%減）などは減少。地域別では、ASEAN（25.5%増）、南アジア（5.9%増）ともに過去最高を更新。
- (3) 品目別では、「おもちゃ」（寄与度0.7%減）、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（同0.6%減）、「テレビ、ビデオ等の映像・音響製品」（同0.3%減）、「建築用具及び関連品」（同0.2%減）などが減少の要因。
- (4) 日本は、3ヶ月連続の減少となる10.0%減の4.8万TEU。品目別の1位（2018年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「自動車部品」（49.3%減）が4ヶ月連続で大幅な減少、2位の「車両機器及び部品」（20.3%減）が4ヶ月連続の減少、4位の「建設機械」（32.2%減）が3ヶ月連続の減少。
- (5) 中国は、9ヶ月連続の減少となる9.7%減の89.8万TEU。1位の「家具及び家財道具」（17.3%減）が13ヶ月連続の減少、4位の「床材・ブラインド等のプラスチック製品」（14.7%減）が5ヶ月連続の減少、5位の「おもちゃ」（23.7%減）が4ヶ月連続の減少。香港は13ヶ月連続の減少となる28.0%減の1.8万TEU。
- (6) 韓国は、2ヶ月連続の減少となる3.1%減の7.9万TEU。1位の「自動車部品」（47.4%減）及び3位の「タイヤ及びチューブ」（22.4%減）が4ヶ月連続の減少、4位の「車両機器及び部品」（18.1%減）が5ヶ月連続の減少。
- (7) 台湾は、2ヶ月連続の増加となる5.2%増の6.8万TEU。3位の「家具及び家財道具」（43.1%増）が17ヶ月連続の増加、6位の「タイヤ及びチューブ」（20.7%増）が11ヶ月連続の増加。
- (8) ASEANは、全体では45ヶ月連続の増加となる25.5%増の34.7万TEUと過去最高を更新。ベトナムは46ヶ月連続の増加となる33.9%増の17.3万TEUと過去最高を更新。ベトナム積みで1位の「家具及び家財道具」（35.3%増）が前年比11ヶ月連続で30%を超える増加、2位の「繊維及びその製品」（17.1%増）が22ヶ月連続の増加、3位の「履物及び附属品」（18.8%増）が9ヶ月連続の増加。
- (9) 南アジアは、全体では19ヶ月連続の増加となる5.9%増の9.9万TEUと過去最高を更新。インドは2ヶ月ぶりの増加となる3.7%増の7.2万TEU。インド積みで1位の「繊維及びその製品」（12.9%増）及び2位の「家具及び家財道具」（25.7%増）が19ヶ月連続の増加。

表-1 2020年1月:積国・地域別荷動き

国・地域	往 航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-1月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	1,558,438	▲2.0	100.0	1,558,438	▲2.0
日 本	48,461	▲10.0	3.1	48,461	▲10.0
韓 国	79,149	▲3.1	5.1	79,149	▲3.1
台 湾	67,807	5.2	4.4	67,807	5.2
中国+香港 計	916,421	▲10.2	58.8	916,421	▲10.2
中 国	898,010	▲9.7	57.6	898,010	▲9.7
香 港	18,411	▲28.0	1.2	18,411	▲28.0
マカオ	28	79.1	0.0	28	79.1
ASEAN 計	347,357	25.5	22.3	347,357	25.5
シンガポール	11,815	41.4	0.8	11,815	41.4
フィリピン	10,316	▲9.7	0.7	10,316	▲9.7
マレーシア	38,719	33.9	2.5	38,719	33.9
インドネシア	39,640	9.2	2.5	39,640	9.2
タ イ	59,770	11.3	3.8	59,770	11.3
ベトナム	173,134	33.9	11.1	173,134	33.9
カンボジア	11,632	48.6	0.7	11,632	48.6
ミャンマー	2,332	145.1	0.1	2,332	145.1
南アジア 計	99,216	5.9	6.4	99,216	5.9
スリランカ	5,978	0.9	0.4	5,978	0.9
バングラデシュ	10,948	30.8	0.7	10,948	30.8
パキスタン	10,270	2.7	0.7	10,270	2.7
インド	72,019	3.7	4.6	72,019	3.7

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、後に若干の修正が加わる場合がある。

II. 品目別荷動き

(1) 往航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している住宅関連3品目(「家具及び家財道具」、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」、「建築用具及びその関連品」)の合計荷動き量は、4ヶ月連続の減少となる2.2%減の37.7万TEU(シェア24.2%)。

品目別でみると、「家具及び家財道具」は6ヶ月ぶりの増加となる1.3%増の26.2万TEU、「床材・ブラインド等のプラスチック製品」は4ヶ月連続の減少となる11.4%減の7.2万TEU、「建築用具及びその関連品」は6ヶ月連続の減少となる6.0%減の4.3万TEU。

(2) 「繊維及びその製品」は3ヶ月連続の増加となる7.1%増の18.3万TEU。

(3) 「一般電気機器」は2ヶ月ぶりの増加となる9.5%増の10.3万TEU、「テレビ・ビデオ等の映像・音響製品」は6ヶ月連続の減少となる10.5%減の4.1万TEU。

(4) 「自動車部品」は6ヶ月連続の減少となる36.2%減の3.7万TEU、「タイヤ及びチューブ」は3ヶ月連続の減少となる1.1%減の4.7万TEU。

表-2 往航:2020年1月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-1月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 家具及び家財道具	261,738	1.3	0.2	1.3	16.8
2. 繊維及びその製品	182,605	7.1	0.8	7.1	11.7
3. 一般電気機器	103,000	9.5	0.6	9.5	6.6
4. 床材・ブラインド等のプラスチック製品	71,924	▲11.4	▲0.6	▲11.4	4.6
5. 履物及び附属品	56,386	▲1.1	▲0.0	▲1.1	3.6
6. タイヤ及びチューブ	46,526	▲1.1	▲0.0	▲1.1	3.0
7. 建築用具及び関連品	43,055	▲6.0	▲0.2	▲6.0	2.8
8. テレビ、ビデオ等の映像・音響製品	41,287	▲10.5	▲0.3	▲10.5	2.6
9. おもちゃ	38,904	▲20.9	▲0.7	▲20.9	2.5
10. ガラス及びその製品	38,277	50.7	0.8	50.7	2.5

Ⅲ. コンテナ運賃の動向

表－3 往航:コンテナ運賃の推移(2018年/2019年対比)

(1)EASTBOUND		(Drewry:Container Freight Rate Insight)										(単位 : US\$/20ft, US\$/40ft)		2020年1月7日	
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2018年	20ft	1,270	1,360	1,060	1,070	1,230	1,200	1,410	1,810	1,930	2,010	2,100	1,720
			40ft	1,630	1,740	1,410	1,430	1,510	1,540	1,770	2,330	2,510	2,590	2,720	2,190
		2019年	20ft	1,740	1,720	1,400	1,520	1,350	1,360	1,410	1,350	1,580	1,290	1,400	1,370
			40ft	2,240	2,180	1,750	1,910	1,730	1,720	1,810	1,760	1,950	1,650	1,740	1,730
		前年比	20ft	37.0%	26.5%	32.1%	42.1%	9.8%	13.3%	0.0%	-25.4%	-18.1%	-35.8%	-33.3%	-20.3%
			40ft	37.4%	25.3%	24.1%	33.6%	14.6%	11.7%	2.3%	-24.5%	-22.3%	-36.3%	-36.0%	-21.0%
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2018年	20ft	2,300	2,350	1,860	1,870	2,030	2,000	2,280	2,750	2,910	2,800	3,070	2,580
			40ft	2,910	3,090	2,420	2,400	2,510	2,530	2,880	3,480	3,720	3,540	3,840	3,320
		2019年	20ft	2,630	2,540	2,270	2,380	2,330	2,250	2,330	2,340	2,390	2,050	2,200	2,220
			40ft	3,330	3,250	2,850	3,000	2,920	2,800	2,930	2,920	2,970	2,640	2,750	2,780
		前年比	20ft	14.3%	8.1%	22.0%	27.3%	14.8%	12.5%	2.2%	-14.9%	-17.9%	-26.8%	-28.3%	-14.0%
			40ft	14.4%	5.2%	17.8%	25.0%	16.3%	10.7%	1.7%	-16.1%	-20.2%	-25.4%	-28.4%	-16.3%
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2018年	20ft	1,550	1,600	1,500	1,500	1,550	1,540	1,690	1,880	1,790	2,100	1,680	1,850
			40ft	1,890	1,960	1,830	1,830	1,880	1,880	2,110	2,360	2,140	2,620	1,970	2,270
		2019年	20ft	1,800	1,840	1,560	1,850	1,420	1,690	1,740	1,640	1,630	1,660	1,630	1,180
			40ft	2,110	2,270	1,920	2,230	1,730	2,030	2,080	1,930	1,920	1,940	1,910	1,430
		前年比	20ft	16.1%	15.0%	4.0%	23.3%	-8.4%	9.7%	3.0%	-12.8%	-8.9%	-21.0%	-3.0%	-36.2%
			40ft	11.6%	15.8%	4.9%	21.9%	-8.0%	8.0%	-1.4%	-18.2%	-10.3%	-26.0%	-3.0%	-37.0%
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2018年	20ft	2,780	2,750	2,540	2,560	2,400	2,420	2,570	2,880	2,760	2,880	2,550	2,790
			40ft	3,380	3,300	3,060	3,200	2,900	2,920	3,140	3,550	3,210	3,520	2,930	3,400
		2019年	20ft	2,800	2,760	2,470	2,820	2,810	2,670	2,700	2,650	2,630	2,670	2,660	1,700
			40ft	3,220	3,360	2,980	3,400	3,300	3,310	3,330	3,030	3,020	3,050	3,050	2,030
		前年比	20ft	0.7%	0.4%	-2.8%	10.2%	17.1%	10.3%	5.1%	-8.0%	-4.7%	-7.3%	4.3%	-39.1%
			40ft	-4.7%	1.8%	-2.6%	6.3%	13.8%	13.4%	6.1%	-14.6%	-5.9%	-13.4%	4.1%	-40.3%

表－4 往航:コンテナ運賃の推移(2019年/2020年対比)

(1)EASTBOUND		(Drewry:Container Freight Rate Insight)										(単位 : US\$/20ft, US\$/40ft)		2020年2月7日		
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
Shanghai (China)	Los Angeles (U.S.A)	2019年	20ft	1,740	1,720	1,400	1,520	1,350	1,360	1,410	1,350	1,580	1,290	1,400	1,370	
			40ft	2,240	2,180	1,750	1,910	1,730	1,720	1,810	1,760	1,950	1,650	1,740	1,730	
		2020年	20ft	1,390	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			40ft	1,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		前年比	20ft	-20.1%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	-19.6%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
Shanghai (China)	New York (U.S.A)	2019年	20ft	2,630	2,540	2,270	2,380	2,330	2,250	2,330	2,340	2,390	2,050	2,200	2,220	
			40ft	3,330	3,250	2,850	3,000	2,920	2,800	2,930	2,920	2,970	2,640	2,750	2,780	
		2020年	20ft	2,420	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			40ft	3,020	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		前年比	20ft	-8.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	-9.3%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
Yokohama (Japan)	Los Angeles (U.S.A)	2019年	20ft	1,800	1,840	1,560	1,850	1,420	1,690	1,740	1,640	1,630	1,660	1,630	1,180	
			40ft	2,110	2,270	1,920	2,230	1,730	2,030	2,080	1,930	1,920	1,940	1,910	1,430	
		2020年	20ft	1,330	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			40ft	1,510	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		前年比	20ft	-26.1%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	-28.4%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
Yokohama (Japan)	New York (U.S.A)	2019年	20ft	2,800	2,760	2,470	2,820	2,810	2,670	2,700	2,650	2,630	2,670	2,660	1,700	
			40ft	3,220	3,360	2,980	3,400	3,300	3,310	3,330	3,030	3,020	3,050	3,050	2,030	
		2020年	20ft	2,270	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			40ft	2,540	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		前年比	20ft	-18.9%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%
			40ft	-21.1%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%

表-5 米国内地域別(西岸/東岸/ガルフ)荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5
11月	62.4	33.4	4.1	58.4	36.0	5.6
12月	62.2	33.0	4.8	55.8	37.9	6.3
2019年1月	59.7	35.9	4.4	57.5	36.1	6.5
2月	59.5	36.0	4.4	56.4	37.7	5.9
3月	56.1	38.1	5.9	56.7	37.0	6.3
4月	60.2	34.6	5.2	55.9	37.5	6.6
5月	60.3	35.2	4.4	55.6	37.2	7.3
6月	60.7	34.1	5.2	56.3	36.7	7.0
7月	61.7	33.5	4.7	54.9	37.6	7.5
8月	57.9	36.8	5.3	56.9	35.3	7.8
9月	59.5	35.3	5.2	58.2	34.3	7.5
10月	57.7	36.3	6.0	53.8	37.8	8.4
11月	60.6	34.8	4.6	56.8	35.7	7.5
12月	58.9	35.3	5.8			
2020年1月	58.7	35.9	5.5			

日本・アジア／米国間コンテナ貨物の荷動き動向について

(2020年1月〔復航〕速報値)

(公財) 日本海事センター 企画研究部

* 文中の%は、寄与度とシェア以外で特に記載がない場合は、対前年同期比を表します。

I. 復航（米国→アジア 18ヶ国・地域）の荷動き

- (1) 2020年1月の米国からアジア（18ヶ国・地域）へのコンテナ荷動き量は、前年比2ヶ月ぶりの減少となる0.1%減の55.6万TEU。
- (2) 国別で見ると、中国（3.6%増）、台湾（10.9%増）、ベトナム（16.3%増）、インド（15.7%増）などが増加となったものの、日本（16.9%減）、韓国（8.3%減）が減少となったことにより微減。地域別では、ASEAN（0.6%増）、南アジア（20.0%増）ともに増加。
- (3) 品目別では上位10品目では、「木材及びその製品」（寄与度1.8%減）だけが減少。また、10位以下の品目合計で寄与度10.6%減と減少の要因となった。
- (4) 日本は2ヶ月ぶりの減少となる16.9%減の5.9万TEU。品目別の1位（2018年の年計ベースの各国・地域の品目別順位、以下同様）の「動物用飼料」（10.6%減）が5ヶ月ぶりの減少、2位の「肉及びその調製品」（3.2%減）が2ヶ月ぶりの減少、3位の「家具及び家財道具」（18.6%減）が9ヶ月連続の減少。
- (5) 中国は、2ヶ月連続の増加となる3.6%増の14.4万TEU。1位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（14.8%増）が4ヶ月ぶりの増加、3位の「家具及び家財道具」（97.1%増）が8ヶ月連続の増加、4位の「動物用飼料」（141.7%増）が7ヶ月連続の増加。香港は6ヶ月連続の減少となる30.4%減の1.4万TEU。
- (6) 韓国は3ヶ月ぶりの減少となる8.3%減の6.0万TEU。3位の「肉及びその調整品」（9.7%減）が4ヶ月連続の減少、4位の「金属スクラップ」（91.3%減）が8ヶ月連続の減少、5位の「果物類」（29.7%減）が8ヶ月ぶりの減少。
- (7) 台湾は3ヶ月連続の増加となる10.9%増の5.8万TEU。1位の「採油用の種及び油脂」（295.0%増）が6ヶ月連続で大幅な増加、2位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（67.4%増）が3ヶ月連続の増加、3位の「鋼材及びその製品」（4.4%増）が4ヶ月連続の増加。
- (8) ASEANは、全体では28ヶ月連続の増加となる0.6%増の15.4万TEU。ベトナムは、4ヶ月連続の増加となる16.3%増の4.4万TEU。ベトナム揚げで2位の「繊維及びその製品」（16.9%増）及び4位の「木材及びその製品」（8.8%増）が2ヶ月連続の増加、3位の「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」（61.8%増）が6ヶ月連続で大幅な増加。
- (9) 南アジアは、全体では3ヶ月連続の増加となる20.0%増の6.8万TEU。インドは3ヶ月連続の増加となる15.7%増の4.6万TEU。インド揚げで1位の「紙、板紙類

及びその製品（古紙含む）」（50.5%増）が3ヶ月連続の増加、3位の「果物類」（10.7%増）が4ヶ月連続の増加、4位の「家具及び家財道具」（19.5%増）が2ヶ月ぶりの増加。

- (10) 2020年1月のインバランス（往航を100とした場合の復航の比率）は、前月比3.1ポイント悪化の35.8%。インバランスを国・地域別に捉えると日本117.1%、韓国75.8%、台湾86.6%、ASEAN44.6%、南アジア68.4%。インバランスに最も影響を与える中国+香港は17.3%。

表-1 2020年1月：揚国・地域別荷動き

国・地域	復航				
	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	シェア (%)	1-1月の 累計(TEU)	前年同期比 (%)
18ヶ国・地域 合計	555,881	▲0.1	100.0	555,881	▲0.1
日本	58,573	▲16.9	10.5	58,573	▲16.9
韓国	59,598	▲8.3	10.7	59,598	▲8.3
台湾	58,013	10.9	10.4	58,013	10.9
中国+香港 計	157,935	▲0.8	28.4	157,935	▲0.8
中国	143,557	3.6	25.8	143,557	3.6
香港	14,378	▲30.4	2.6	14,378	▲30.4
マカオ	44	47.9	0.0	44	47.9
ASEAN 計	154,162	0.6	27.7	154,162	0.6
シンガポール	16,242	9.2	2.9	16,242	9.2
フィリピン	11,686	1.8	2.1	11,686	1.8
マレーシア	27,310	29.8	4.9	27,310	29.8
インドネシア	25,729	▲39.1	4.6	25,729	▲39.1
タイ	21,371	▲1.9	3.8	21,371	▲1.9
ベトナム	44,058	16.3	7.9	44,058	16.3
カンボジア	1,244	▲43.1	0.2	1,244	▲43.1
ミャンマー	6,523	259.4	1.2	6,523	259.4
南アジア 計	67,556	20.0	12.2	67,556	20.0
スリランカ	2,842	22.2	0.5	2,842	22.2
バングラデシュ	3,703	18.5	0.7	3,703	18.5
パキスタン	15,395	34.6	2.8	15,395	34.6
インド	45,616	15.7	8.2	45,616	15.7

(注) 集計対象は、日本、韓国、台湾、中国、香港、マカオの他、ASEANのうちシンガポール、フィリピン、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、カンボジア、ミャンマーの8ヶ国、南アジアではインド、パキスタン、スリランカ、バングラデシュの4ヶ国、合計18ヶ国・地域を対象としている。また、速報値ベースでの発表のため、翌月以降に若干の修正が加わる場合がある。

II. 復航の品目別荷動き

- (1) 復航荷動き量を品目別にみると、荷動きを牽引している「紙、板紙類及びその製品（古紙含む）」は4ヶ月ぶりの増加となる19.5%増の9.9万TEU。
- (2) 「動物用飼料」は5ヶ月連続の増加となる8.4%増の4.9万TEU。
- (3) 「繊維及びその製品」は8ヶ月連続の増加となる6.9%増の3.8万TEU。
- (4) 「採油用の種及び油脂」は5ヶ月連続の増加となる39.6%増の3.6万TEU。
- (5) 「家具及び家財道具」は8ヶ月連続の増加となる40.9%増の3.4万TEU。

表-2 復航:2020年1月の品目別荷動き(上位10品目)

品目名	荷動量 (TEU)	前年比 (%)	寄与度 (%)	1-1月 前年同期比(%)	シェア (%)
1. 紙、板紙類及びその製品(古紙含む)	98,908	19.5	2.9	19.5	17.8
2. 動物用飼料	49,110	8.4	0.7	8.4	8.8
3. 繊維及びその製品	37,923	6.9	0.4	6.9	6.8
4. 採油用の種及び油脂	35,623	39.6	1.8	39.6	6.4
5. 家具及び家財道具	33,699	40.9	1.8	40.9	6.1
6. レジン等の合成樹脂	29,240	18.4	0.8	18.4	5.3
7. 肉及びその調整品	25,776	28.7	1.0	28.7	4.6
8. 木材及びその製品	24,997	▲28.2	▲1.8	▲28.2	4.5
9. ニッケル、銅等の非鉄金属鉱	22,112	94.6	1.9	94.6	4.0
10. ピッチ、タール等の鉱物性残留物	18,769	72.7	1.4	72.7	3.4

Ⅲ. コンテナ運賃の動向

表－3 復航:コンテナ運賃の推移(2018年/2019年対比)

(2)WESTBOUND			(Drewry:Container Freight Rate Insight)									(単位 : US\$/20ft, US\$/40ft)			2020年1月7日		
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2018年	20ft	640	640	630	620	660	690	750	640	640	700	710	710		
			40ft	770	770	740	740	800	830	840	750	760	820	820	820		
		2019年	20ft	730	710	700	700	690	690	690	680	730	710	710	750		
			40ft	840	810	790	800	790	800	790	780	810	770	780	820		
		前年比	20ft	14.1%	10.9%	11.1%	12.9%	4.5%	0.0%	-8.0%	6.3%	14.1%	1.4%	0.0%	5.6%		
40ft	9.1%	5.2%	6.8%	8.1%	-1.3%	-3.6%	-6.0%	4.0%	6.6%	-6.1%	-4.9%	0.0%					
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2018年	20ft	910	910	880	880	870	880	820	820	790	840	880	880		
			40ft	1,100	1,100	1,070	1,060	1,040	1,130	1,070	1,070	1,030	970	1,010	1,020		
		2019年	20ft	880	780	770	770	870	860	870	870	910	870	780	810		
			40ft	1,020	940	930	930	1,060	1,050	1,070	1,060	1,100	1,070	950	1,000		
		前年比	20ft	-3.3%	-14.3%	-12.5%	-12.5%	0.0%	-2.3%	6.1%	6.1%	15.2%	3.6%	-11.4%	-8.0%		
40ft	-7.3%	-14.5%	-13.1%	-12.3%	1.9%	-7.1%	0.0%	-0.9%	6.8%	10.3%	-5.9%	-2.0%					
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2018年	20ft	870	880	880	880	790	790	950	920	900	980	900	930		
			40ft	1,080	1,090	1,090	1,110	1,000	1,010	1,230	1,200	1,190	1,270	1,160	1,210		
		2019年	20ft	960	960	1,000	1,170	980	960	960	930	900	880	890	940		
			40ft	1,250	1,280	1,290	1,510	1,270	1,250	1,250	1,220	1,180	1,150	1,120	1,210		
		前年比	20ft	10.3%	9.1%	13.6%	33.0%	24.1%	21.5%	1.1%	1.1%	0.0%	-10.2%	-1.1%	1.1%		
40ft	15.7%	17.4%	18.3%	36.0%	27.0%	23.8%	1.6%	1.7%	-0.8%	-9.4%	-3.4%	0.0%					
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2018年	20ft	1,250	1,250	1,260	1,250	1,220	1,220	1,370	1,350	1,370	1,400	1,330	1,350		
			40ft	1,480	1,480	1,490	1,620	1,500	1,490	1,760	1,780	1,790	1,820	1,690	1,730		
		2019年	20ft	1,390	1,360	1,370	1,320	1,340	1,490	1,370	1,350	1,210	1,210	1,180	1,250		
			40ft	1,750	1,770	1,780	1,720	1,760	1,790	1,660	1,370	1,500	1,490	1,460	1,540		
		前年比	20ft	11.2%	8.8%	8.7%	5.6%	9.8%	22.1%	0.0%	0.0%	-11.7%	-13.6%	-11.3%	-7.4%		
40ft	18.2%	19.6%	19.5%	6.2%	17.3%	20.1%	-5.7%	-23.0%	-16.2%	-18.1%	-13.6%	-11.0%					

表－4 復航:コンテナ運賃の推移(2019年/2020年対比)

(2)WESTBOUND			(Drewry:Container Freight Rate Insight)									(単位 : US\$/20ft, US\$/40ft)			2020年4月20日		
積地	向け地			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
Los Angeles (U.S.A)	Shanghai (China)	2019年	20ft	730	710	700	700	690	690	690	680	730	710	710	750		
			40ft	840	810	790	800	790	800	790	780	810	770	780	820		
		2020年	20ft	750	740	700	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
			40ft	840	830	800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		前年比	20ft	2.7%	4.2%	0.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	
40ft	0.0%	2.5%	1.3%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%				
New York (U.S.A)	Shanghai (China)	2019年	20ft	880	780	770	770	870	860	870	870	910	870	780	810		
			40ft	1,020	940	930	930	1,060	1,050	1,070	1,060	1,100	1,070	950	1,000		
		2020年	20ft	830	810	800	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			40ft	1,030	1,000	990	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		前年比	20ft	-5.7%	3.8%	3.9%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%		
40ft	1.0%	6.4%	6.5%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%					
Los Angeles (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2019年	20ft	960	960	1,000	1,170	980	960	960	930	900	880	890	940		
			40ft	1,250	1,280	1,290	1,510	1,270	1,250	1,250	1,220	1,180	1,150	1,120	1,210		
		2020年	20ft	910	940	900	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			40ft	1,200	1,260	1,230	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		前年比	20ft	-5.2%	-2.1%	-10.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%		
40ft	-4.0%	-1.6%	-4.7%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%					
New York (U.S.A)	Yokohama (Japan)	2019年	20ft	1,390	1,360	1,370	1,320	1,340	1,490	1,370	1,350	1,210	1,210	1,180	1,250		
			40ft	1,750	1,770	1,780	1,720	1,760	1,790	1,660	1,370	1,500	1,490	1,460	1,540		
		2020年	20ft	1,290	1,410	1,340	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
			40ft	1,650	1,770	1,780	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		前年比	20ft	-7.2%	3.7%	-2.2%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%		
40ft	-5.7%	0.0%	0.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%	-100.0%					

IV. 米国内地域別（西岸／東岸／ガルフ）荷動きの構成比の推移

米国内地域 集計年(月)	往 航			復 航		
	西岸揚 (%)	東岸揚 (%)	ガルフ揚 (%)	西岸積 (%)	東岸積 (%)	ガルフ積 (%)
2017年1月	63.5	33.0	3.5	52.3	41.0	6.6
2月	59.1	37.0	4.0	57.2	36.8	6.0
3月	64.7	31.5	3.8	59.4	34.7	5.9
4月	63.8	32.7	3.5	56.9	38.1	4.9
5月	64.8	32.0	3.2	57.6	37.8	4.6
6月	62.9	33.1	4.1	57.2	37.9	4.9
7月	63.3	32.6	4.1	56.3	38.4	5.3
8月	64.4	32.2	3.3	58.6	36.4	5.0
9月	60.4	34.8	4.9	58.3	36.6	5.1
10月	59.8	35.7	4.5	55.6	39.2	5.2
11月	65.7	30.2	4.1	57.5	37.7	4.8
12月	62.6	33.6	3.9	56.0	38.3	5.7
2018年1月	62.7	33.5	3.8	56.0	38.9	5.1
2月	62.3	33.7	4.0	56.5	37.9	5.6
3月	55.5	39.5	5.0	56.0	38.7	5.3
4月	64.8	31.4	3.8	54.9	40.3	4.8
5月	66.5	29.4	4.1	57.7	36.9	5.4
6月	60.2	35.3	4.6	56.6	37.6	5.8
7月	61.7	34.1	4.2	56.4	38.1	5.5
8月	59.9	35.6	4.5	56.8	37.6	5.7
9月	62.2	32.9	4.9	61.9	32.5	5.6
10月	60.3	34.9	4.8	55.6	37.9	6.5
11月	62.4	33.4	4.1	58.4	36.0	5.6
12月	62.2	33.0	4.8	55.8	37.9	6.3
2019年1月	59.7	35.9	4.4	57.5	36.1	6.5
2月	59.5	36.0	4.4	56.4	37.7	5.9
3月	56.1	38.1	5.9	56.7	37.0	6.3
4月	60.2	34.6	5.2	55.9	37.5	6.6
5月	60.3	35.2	4.4	55.6	37.2	7.3
6月	60.7	34.1	5.2	56.3	36.7	7.0
7月	61.7	33.5	4.7	54.9	37.6	7.5
8月	57.9	36.8	5.3	56.9	35.3	7.8
9月	59.5	35.3	5.2	58.2	34.3	7.5
10月	57.7	36.3	6.0	53.8	37.8	8.4
11月	60.6	34.8	4.6	56.8	35.7	7.5
12月	58.9	35.3	5.8	56.0	35.1	8.9
2020年1月	58.7	35.9	5.5	52.4	38.9	8.7